

生命科学部



ご挨拶

生命科学部は1997年4月板倉キャンパスに開設され、今年で26年目を迎えます。

今、感染症、再生医療、食糧・環境問題などの“いのち”をとりまく様々な問題がクローズアップされ、このような課題に対する生命科学分野からの貢献が期待されています。生命科学部は、生命現象の謎を、遺伝子・細胞・個体のレベルで明らかにし、学んだ知識と技術を用いて、医療・環境・農・食・教育などの分野で、社会の発展に貢献できる人材育成を目指します。また、新しい発見や技術革新が日進月歩で起こる生命科学分野では、絶えず新しい知識と技術を吸収して活用できるような主体性のある人材が求められています。生命科学部では、通常の基礎教育科目や専門教育科目に加えて、向上心・主体性の育成や自発的なキャリアプランの形成に繋がる多彩なカリキュラムと課外のプログラムを実施しています。さらに、2024年4月には朝霞キャンパスに移転し、時代のニーズに沿った学部の統合と連携強化を行う予定です。

(生命科学部長 鳴海 一成)